

4月18日(木)に全国学力・学習状況調査(国語・数学)が、3年生を対象に実施されました。実施時間については、国語・数学共に50分間で、内容は、知識に関する問題や活用に関する問題が織り交ぜられた形で出題されました。生徒質問調査は、学力状況調査とは別日に、タブレットに回答する形式に変わり、生活の様子、学校や家庭での学習状況等を問う内容を回答しました。

以下に、本校の今年度の結果の分析をお知らせします。

学力状況の結果について、まず平均正答率で見ると、国語は全国平均・大阪府平均を少し下回りましたが、数学は全国平均よりわずかに下回り、大阪府平均と全く同じでした。

ついで無回答率で見ると、両教科とも大阪府や全国に比べて無回答が少なく、生徒は諦めずに問題に挑戦していたことが見受けられました。

今回の調査結果を、今後日々の授業に反映したいと思います。

生徒質問調査の結果を大阪府や全国と比較した結果、本校では次のような特徴が見られました。

<肯定的な回答の割合が高い質問項目>

- ・毎日、同じ時刻に寝る
- ・毎日、同じ時刻に起きる
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれる
- ・将来の夢や目標をもっている
- ・学校へ行くのが楽しい
- ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある
- ・詳しく知りたいことがある時、自分で学び方を工夫する
- ・自分の考えが伝わるよう工夫して発表した
- ・学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直した
- ・1,2年生の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使った
- ・道徳の授業で自分の考えを深めたりグループで話し合う活動に取り組んだりしている
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
- ・理科の授業で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てる
- ・1,2年の英語の授業でスピーチなどまとまった内容を発表する活動が行われていた



<肯定的な回答の割合が低い項目>

- ・いじめはよくないことだと思う
- ・困りごとや不安がある時、先生に相談できる
- ・友達関係に満足している
- ・授業で学んだことを実生活に結び付けたり生かしたりできる
- ・先生は間違えたところを分かるまで教えてくれる
- ・学級活動で話し合い互いのよさを生かして解決している
- ・国語の勉強が好き
- ・数学で学んだことを普段の生活の中で活用できないか考える



【国語】

平均正答率と比較すると、本校の平均正答率は全国平均・大阪府平均を少し下回るという結果でした。

領域別では、「我が国の言語文化に関する事項」は大阪府および全国の平均をやや上回りましたが、「情報の扱い方に関する事項」は大阪府および全国の平均とほぼ同じ、「書くこと」「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方」においては、大阪府および全国の平均よりやや下回りました。

問題形式別に見ると、選択式・短答式及び記述式の問題の全てで、平均正答率が全国および大阪府の平均をやや下回りました。

今回の結果を受けて、伝える目的を意識したり表現力を高めたりするために語彙や表現の技法を増やすことのできる授業づくりをすすめていきたいと思っています。



【数学】

平均正答率と比較すると、本校の平均正答率は、全国平均よりわずかに下回り、大阪府平均と全く同じ結果となりました。

領域別に見てみると、「数と式」、「データの活用」「関数」の分野では全国平均および大阪府の平均と同程度かわずかに下回り、「図形」の分野では、全国平均を上回る結果となりました。

設問ごとに見てみると、「数と式」の分野の等式を「目的に応じて変形することができるか」をみる問題では、全国・大阪府の正答率より大きく上回る結果になった反面、同じ「数と式」の分野の「連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるか」をみるでは、全国・大阪府の正答率より大きく下回り、問題によりばらつきがありました。

「図形」の分野では、「回転移動について理解しているか」をみる問題の正答率がそれぞれ全国平均を大きく上回っており、成果が見られました。

総合的に見て、数学的な「知識・技能」に関して、日頃から授業の冒頭の小テストなどの実施を通して基礎基本の定着を図り、「思考・判断・表現」の定着の為に「筋道を立てて考える、式やグラフなどを用いて根拠を持って説明すること」を大切に授業や課題設定をすすめていきたいと思っています。

